



# Crosswork Cloud Traffic Analysis の使用開始

このワークフローでは、すぐに Crosswork Cloud Traffic Analysis の使用を開始するためのタスクの概要を示します。



Crosswork Cloud Traffic Analysis ではデータ収集に Crosswork Data Gateway が使用されるため、ワークフローには、Crosswork Data Gateway のインストールおよびセットアップ方法に関する概要情報も含まれています。







- [概要 Crosswork Cloud Traffic Analysis \(1 ページ\)](#)

## 概要 Crosswork Cloud Traffic Analysis

表 1: Crosswork Cloud Traffic Analysis のセットアップおよび使用開始ワークフローの概要

手順	操作	Crosswork Cloud のナビゲーションと注記
<b>Crosswork Data Gateway</b> 次の手順は、Crosswork Cloud の外部で実行されます。		
1	Crosswork Data Gateway の要件を確認します。	<a href="#">インストール要件</a>
2	Crosswork Data Gateway のインストール中に必要な情報を収集します。次の点を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"><li>• Crosswork Data Gateway が Crosswork Cloud (管理インターフェイス) に接続できるネットワーク</li><li>• Crosswork Data Gateway がデバイスに接続できるネットワーク (オプションのサウスバウンドインターフェイス)</li><li>• 各インターフェイスの IP アドレス情報</li><li>• プロキシ (インターネットへの接続が必要な場合)</li></ul>	<a href="#">展開パラメータとシナリオ</a>

手順	操作	Crosswork Cloud のナビゲーションと注記
3	Crosswork Data Gateway をインストールします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>サポートされているすべてのプラットフォームの詳細な手順については、<a href="#">Crosswork Data Gateway のインストール</a>を参照してください。</li> <li>クイックリファレンスとして、<a href="#">vCenter vSphere クライアント</a>を使用した <a href="#">Crosswork Data Gateway のインストール</a>も参照できます。この例では、サポートされている Crosswork Data Gateway の最新のイメージを取得して、インストールが成功したことを確認します。</li> </ul>
4	Crosswork Data Gateway から、登録パッケージ (.json ファイル) を取得し、後でアクセスできる場所にダウンロードします。json 登録ファイルには、Crosswork Data Gateway を Crosswork Cloud に登録するために使用される一意のデジタル証明書が含まれています。	<a href="#">登録パッケージの取得とエクスポート</a>
<p><b>Crosswork Cloud Traffic Analysis</b></p> <p>次の手順は、Crosswork Cloud Traffic Analysis 内で実行されます。</p> <p>(注) 環境が設定されていることを確認するために、Crosswork Cloud トラフィック分析 セットアップチェックリスト ( &gt; [セットアップチェックリスト (Setup Checklist)]) を使用することもできます。</p>		
5	<p>登録パッケージをアップロードして Crosswork Data Gateway を Crosswork Cloud Traffic Analysis に登録します。</p> <p>(注) 各 Crosswork Data Gateway は1つの Crosswork Cloud アプリケーションにのみ適用できます。これは、この Crosswork Data Gateway インスタンスを Crosswork Cloud Trust Insights に使用できないことを意味します。</p>	<p><a href="#">Crosswork Data Gateway 情報の追加</a></p> <p> &gt; [設定 (Configure)] &gt; [データゲートウェイ (Data Gateways)] &gt; [データゲートウェイの追加 (Add Data Gateway)] &gt; [登録ファイル (Registration File)]</p>

手順	操作	Crosswork Cloud のナビゲーションと注記
5	Crosswork Cloud Traffic Analysis 用のデバイスで BGP、SNMP、およびネットワーク フロー モニタリング プロトコルを設定します。	トラフィック分析用のデバイスを追加するための前提条件
6	デバイスを追加するときに使用する BGP、SSH（任意）、および SNMP のデバイスログイン情報を追加します。	<p>クレデンシャルの作成</p> <p> &gt; [設定 (Configure)] &gt; [ログイン情報 (Credentials)] &gt; [ログイン情報の追加 (Add Credential)]</p>
7	<p>デバイスを追加します。</p> <p>(注) デバイスがすでに Crosswork Cloud に追加されている場合は、デバイスを Crosswork Cloud Trust Insights にリンクするだけです。</p> <p> &gt; [データゲートウェイ (Data Gateways)] &gt; [データゲートウェイ名 (data-gateway-name)] &gt; [リンク済みトラフィックデバイス (Linked Traffic Devices)]</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• デバイスの追加</li> </ul> <p> &gt; [設定 (Configure)] &gt; [デバイス (Devices)] &gt; [デバイスの追加 (Add Device)]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• すべての接続が稼働していることを確認します。</li> </ul> <p> &gt; [設定 (Configure)] &gt; [デバイス (Devices)] &gt; [デバイス名 (device_name)] &gt; [ステータス (Status)] タブ</p>
8	外部インターフェイスを指定します。Crosswork Cloud Traffic Analysis は外部インターフェイスを指定するまでトラフィックデータを表示できません。	<p>外部インターフェイスの指定</p> <p> &gt; [設定 (Configure)] &gt; [デバイス (Devices)] &gt; [デバイス名 (device_name)] &gt; [トラフィック分析 (Traffic Analysis)] タブ &gt; [インターフェイス (Interfaces)]</p>
9	正常なトラフィックの外観を定義し、外観が異なる場合は通知するポリシーを表示し、作成します。	<p>ポリシー</p> <p> &gt; [設定 (Configure)] &gt; [ポリシー (Policies)]</p>
<p><b>次のステップ</b></p> <p>セットアップが完了し、Crosswork Cloud Traffic Analysis の使用を開始できます。</p>		

手順	操作	Crosswork Cloud のナビゲーションと注記
10	<p>トラフィックのモニタリングを開始し、輻輳ポイントと機会を簡単に特定して、BGP トラフィックのロードバランシングと最適化を改善します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 輻輳が発生していますか。輻輳に役立つ変更は何ですか。</li><li>• アドバタイズメントを分割して、トラフィックフローをピア間で移動できますか。エッジデバイス間でトラフィックを移動すると、どのような影響がありますか。</li><li>• IP ルーティングテーブルは、輻輳したデバイスのトラフィックフローにどのように関連しますか。</li><li>• どこで、誰とピアリングする必要がありますか。</li></ul>	

手順	操作	Crosswork Cloud のナビゲーションと注記
		<p>トラフィック情報の表示：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• デバイス分析の詳細の表示</li> <li>• インターフェイストラフィックの詳細の表示</li> <li>• ASN トラフィックの詳細の表示</li> <li>• プレフィックストラフィックの詳細の表示</li> </ul> <p>使用できるツール：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>インターフェイス使用率の最適化</b>：このツールは、全体的な使用率を正規化するために、過度に使用されているエッジインターフェイスからのトラフィックを十分に使用されていないエッジインターフェイスに転送できるプレフィックスの推奨リストを提供します。</li> <li>• <b>トラフィックの比較</b>：ASN、プレフィックス、デバイス、インターフェイスなどの類似オブジェクト間のトラフィックを比較できます。</li> <li>• <b>トラフィックのドリルダウン</b>：このツールを使用すると、インターフェイスの容量と、容量に貢献しているトラフィックソースを簡単に表示できます。</li> <li>• <b>ピア探査</b>：このツールを使用すると、大量のトラフィックが送受信されているピア ASN が表示されます。現在のピアを選択し、トラフィックを移動できる</li> </ul>

手順	操作	Crosswork Cloud のナビゲーションと注記
		他のピアをすばやく確認するのに役立ちます。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。